

川岸小学校

学年ごと、体に障害を持つ方々と交流や体験学習会をし、人権・福祉について考えました。地域社会には、子ども、高齢者、障害者等様々な方が生活しています。擬似体験や学習会が、「自分に出来ることは何だろう」と考えるきっかけになればと思います。

点字学習会



車いす体験



手話学習会



アイマスク体験



点字：岡谷点字サークルの会員に点字の打ち方を習った後、実際に点字を打って視覚障害の方に読んでいただきました。

アイマスク体験：視覚障害者の今井彰さん、ガイドヘルパーの山岡さんから、目の不自由な方を誘導するポイントや食事の時の説明の仕方を教えていただきました。アイマスクをして、友達同士で誘導したり、お皿にのっている料理の説明をしたり、ポットや急須を使って湯飲みに水を入れてみたりしました。

手話：聴覚障害の方からお話を聞いたり、手話を教えていただきました。

車いす体験：実際に車いすで生活されている方からお話を聞いた後、車いす体験をしました。車いすの使い方や、介助する時に気をつけることなどを学び友達を乗せ段差を乗り越えてみたり、ひとりで動かす体験をしました。

アイマスク体験から学んでほしいこと 「見えない」という体験から全盲の人たちの姿勢や動きを学んでほしい。見えること、聞こえること、味わうこと、触れること、感じることなどごく当たり前のことを幸せと感じ喜ぶことの出来る世の中を目指し成長してほしい。(今井彰さん)

湊小学校

手話講演会

聴覚障害の北原さんをお迎えし「耳の聞こえない人と学ぼう」をテーマに聾学校の^{ろう}こと、社会人になってからのこと、災害の時のこと等、当たり前があたりまえでないことに気づかされる様々なお話をさせていただきました。

～感想文より抜粋～

- 北原さんの手話はちゃんとした言葉になっていました。北原さんのことばは聞こえないけれど、手話を見ているだけで、北原さんの声が聞こえてくるようでした。(Mさん)
- もし、聴覚障害の方に出会ったら自分では手話は使えないので筆談などをして工夫して話しをしよう。「どんな障害を持っている方でも困っていたら助けてあげなければならないなあ」と思いました。(Sさん)



外見からはまったく障害者と分からない、聴覚障害者について、少しでも知っていただけて感謝です。話の中から多くを学び自ら何が出来るのか考え、他人への配慮の出来る生徒さんが大勢いるんだなあ！と感心しました。病院、郵便局、銀行、市役所、デパート、レストランなど、人の多く集まる所に当たり前のように手話を話せる人がいる社会になってほしいです。(北原一司さん)

～岡谷市社会福祉協議会業務の終了時間変更について～

4月1日から社協事務局、居宅介護事業所、訪問介護事業所、まゆみ園の業務終了時間が、今までの午後5時30分から午後5時15分に変更となります。